

ほっとサロン虹

通信

2024.5.17

ほっとサロン虹は、がん患者さんやご家族の皆様が病気や暮らしなど
気になること、相談したいことなど、お話ができる場です。

テーマ：人生会議をしてみよう

縁起でもない人生の最期に一緒に向き合ってみませんか？

講師：岩国医療センター 緩和ケア認定看護師 武田政代



今回は、当院の緩和ケア認定看護師の武田さんが「人生会議
をしてみよう 縁起でもない人生の最期に一緒に向き合っ
てみませんか？」というテーマで話をしました。

記：がん看護専門看護師
上田佳奈

6割以上の方は、最期の時についてご家族や医療
介護関係者とあらかじめ話し合うことを希望されて
いますが、実際に話し合いをされた人は4割の方だ
そうです。

誰でも、いつでも、命に係わる大きな病気や怪我
をする可能性があります。命の危機が迫った状態に
なると7割の方がこれからの医療やケアなどについ
て自分で決めたり、人に伝えたりすることができな
くなるそうです。命に関わる大きな病気や怪我をし
た時、ご家族や周りの信頼できる人が、本人の気持
ちを想像しながら、医療者と話し合いをすること
になるため、周囲の人に自分の価値観や気持ちを知
ってもらっていることが
大切になるそうです。



人生の最期にどうありたいか、なかなかうまく表
現できない方もいらっしゃると思います。

今回は自分の価値観を知るために『もしバナゲー
ム』を行いました。ゲームをしながら、自分はどんな
ことを望んでいるのかを考え、参加者の方と共有し
ました。参加者それぞれで大切にしたいことが異なっ
ていること、昔と今では大切にしたいと思うことが
変わったこと、その時の自分の状況によっても気持
ちが変わってくることなどがゲームを通して分かり
ました。ぜひみなさんもご家族や大切な人と話をし
てみてはいかがでしょうか。

